

## コラム 新規上場企業

No.3

2016年7月19日

Office IP Edge 代表 弁理士 原田正純 (Masazumi Harada)

### 【企業概要】

会社名	バーチャレクス・コンサルティング株式会社
設立	1999年6月
上場	2016年6月23日(東証マザーズ)
本社	東京都港区
社員数	709名(2016年6月30日現在)
主な事業内容	企業と顧客の接点(チャネル)に関するコンサルティングとアウトソーシングサービスおよびソフトウェアの提供
売上高	3,865百万円(2016年3月期)
経常利益	251百万円(2016年3月期)

(バーチャレクス・コンサルティング株式会社のホームページより抜粋)

バーチャレクス・コンサルティング株式会社の理念は下記のとおりである。

- ・顧客と企業の接点の最適化領域で No.1 企業となる
- ・消費者・企業・働く人が満足するビジネスの仕組みを創造することにより、より良い社会作りに貢献する
- ・コンサルティング・テクノロジー・アウトソーシングの3つを融合させ、クライアント企業に結果で貢献する

コンサルティング、テクノロジー、アウトソーシングの3つのコアスキルを融合し、製品やサービスを提供している。

### 【国内知的財産権の状況】(情報検索は J-PlatPat より)

特許出願が3件ある。その内、1つを紹介する。

特開 2015-197861

発明の名称「データ加工サーバおよびコンピュータプログラム」

【課題】通信端末ごとに収集されるアクセス履歴や行動履歴と、通信端末の操作者が属している組織がどこである、という情報とを紐づけ、当該組織が所望する情報を分析するためのデータへ加工する技術を提供する。

【解決手段】収集データ受信手段が受信した各種データからIPアドレスを抽出してWHOISデータベースへ送信するIPアドレス送信手段と、WHOISデータベースから当該IPアドレスに該当するWHOISデータを受信するWHOISデータ受信手段と、受信した各種データおよびWHOISデータに基づいて、前記のIPアドレスに係る個別端末のユーザが祖属する組織名を判断して加工するデータ加工手段と、そのデータ加工手段が加工した組織名を付加した加工済みデータを依頼先企業に係るサーバへ送信する加工済みデータ送信手段と、を備える。

商標権は10件ある。その内、2つを紹介する。(指定商品・役務は省略する。)

第4618703号

登録商標

インスピーリ  
i n s p i r x

コールセンターなどで顧客とのやり取りを記録するために利用するソフトウェアである。

第4988707号

登録商標

keepa

パソコンと電話さえあれば、高額なコールセンター用の交換機を購入することなく短期間で簡単にコールセンターとしての機能を導入可能なSaaS (Software as a Service) 型サービスである。

【ビジネスの展望など】

バーチャレクス・コンサルティング株式会社は、①コンサルティング、②テクノロジー、③アウトソーシングの3つを核とするコンサルティング会社である。製品やサービスを見るとCRM (Customer Relationship Management) に力を入れており、コールセンター向けの製品やサービスを持っていることも興味深い。

また、バーチャレクス・コンサルティング株式会社のホームページに記載してある製品やサービスの説明を読んだだけでは、どのようなコンサルティングを受けられるのかわかりにくい面もあるが、導入事例が豊富に掲載しており、これらの事例を見ることにより、自社の立場に当てはめて考えてみる事ができる。

バーチャレクス・コンサルティング株式会社の国内知的財産権の取得状況は特許出願 3 件、商標権 10 件であった。コンサルティングというビジネスの特徴から、技術的な特許を取得することは難しいが、いわゆるビジネスモデル特許を 3 件出願していることは評価できる。

コンサルティングというビジネスは、サービスを受ける立場からすると、サービスを受けた後にどのような効果が現れるのか、今一つわかりにくい。また、サービスを提供する側としては、どのように他社との差別化を売りにしていくかも大変だと思われる。

バーチャレクス・コンサルティング株式会社の経営陣を見ると、皆が名だたるコンサルティング会社の出身であるが、製造業やサービス業をある程度経験した者がいないことが気掛かりである。この辺りは、他の社員や提携機関などで現場経験豊富な人の意見も真摯に取り入れて、製品やサービスに活かすことで、クライアントの真の問題を解決していくことに繋がっていくと考えられる。

以上